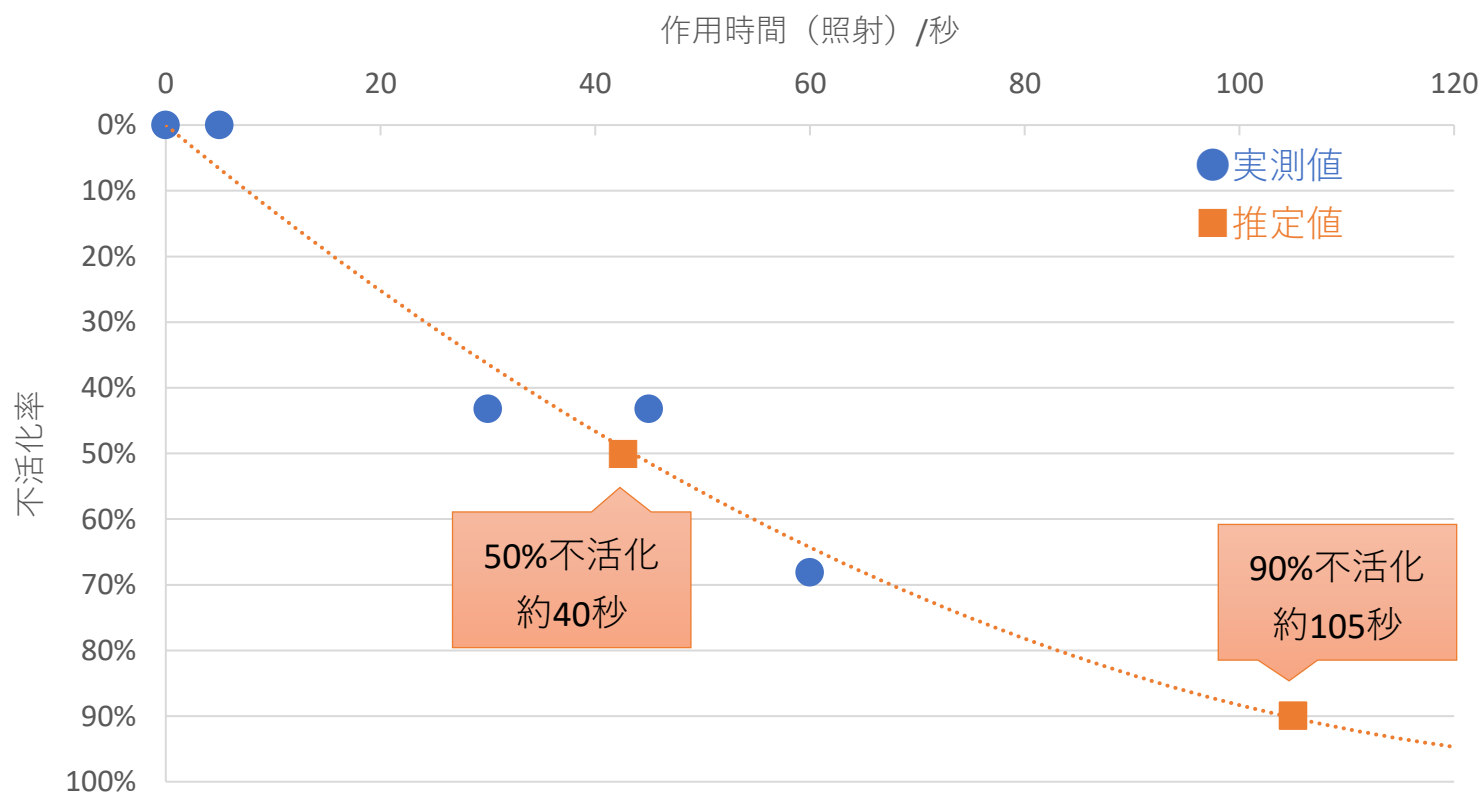


紫外線A波による除菌効果

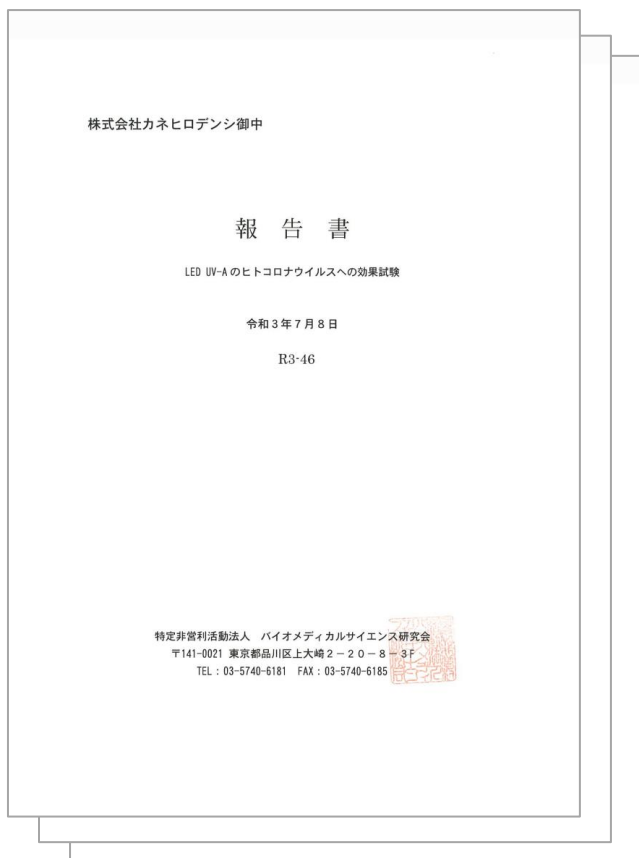
当社紫外線A波（UVA）照射製品により、ヒトコロナウイルス（229E）が不活化される効果が得られた。認定特定非営利活動法人バイオメディカルサイエンス研究会での測定結果により、下記の通りUVAによる不活化を計測。



ヒトコロナウイルス229E UVAによる不活化時間

参考 | バイオメディカルサイエンス研究会の報告書

2021年7月に認定特定非営利活動法人バイオメディカルサイエンス研究会での実験にて、UVAにヒトコロナウイルスへの不活化効果が認められた。
小型のドーム型を使用して不活化率を測定した。



被験サンプル
ドーム (小型)

成績：成績は下表のようであった。

作用時間	被験サンプル	感染価 (PFU/0.1mL)	不活化率 (%)
0分	UVBOX365	4.4×10^6	0
5秒	UVBOX365	4.4×10^6	0
30秒	UVBOX365	2.5×10^6	43.2
45秒	UVBOX365	2.5×10^6	43.2
60秒	UVBOX365	1.4×10^6	68.1

考察：UVBOX365について、上記の成績のとおり60秒の照射で、68.1%低下しており、ヒトコロナウイルスに対して、不活化速度を測定することができた。

ドーム型製品による活用目安

特定非営利活動法人バイオメディカルサイエンス研究会での測定結果をもとに、ドーム型製品を用いて照射シミュレーションを行い、感染リスクを低減する50%不活化することを目安に、ご家庭での用途を次の通り設定しました。

型		用途（1時間で50%不活化）
ドーム型		約6畳のキッチンや居間などでの効果
ドーム型 (小型)		約1畳のトイレや玄関などでの効果

